

学校便り
足柄小学校

☆学校教育目標 「金太郎のような やさしく つよく たくましい子」
◎重点目標 「自分で考え 最後まで行動できる子」
※経営目標 「笑顔いっぱい足柄っ子」



あしがら

第3号 令和2年6月30日

『心は近くに』

校長 佐藤 きよ恵

太陽の一部が月に隠れる「部分日食」が21日夕方、全国各地で観測されました。あいにくの梅雨空のため直接見ることができなかったのがテレビ観測です。日食は地球を回る月が太陽の手前を横切ることによって太陽が欠けたように見える現象です。報道によれば次の部分日食は10年後の2030年6月1日、皆既日食は2035年9月の予定だそうです。



月曜日朝の6年生との会話。「昨日、部分日食だったね。」「天気が悪くて見えなかった。」「次は10年後だって。」「え、10年!?! ぼくたち、その時22歳だ!」

学校が再開してから1か月が過ぎようとしています。マスク着用、消毒や手洗い、3密を避けてなるべくゼロ密の状態に……。授業中、顔を突き合わせての話合いはできないけれど、個々のホワイトボードや付箋を使って意見交換することはできる。体育で人にタッチする鬼ごっこはできないけれど、影踏み鬼はできる。教室では思いきり大きな声で歌うことはしないけれど、多目的ホールや運動場のように広い場所では思いきり歌える。全校集会や児童集会は放送を使って教室で話を聴く。なかよしペア活動はできないので、足柄なかよし郵便でペアに手紙を書く。図書館が密になるので、返却・選書・貸出を一方通行で行う。子どもたちからのアイデアも聞きながら、できることをできる方法で取り組んでいます。

毎年6月は読書月間として、本に親しむ取り組みを行ってきました。今年は6月に学校がスタートし、委員会活動も進んでいなかったため読書月間は見送りました。5月5日に行われた『第2回小学生がえらぶ! こどもの本総選挙』で子どもたちに選ばれた第1位は「おもしろい! 進化のふしぎ ざんねんないきもの事典」です。残念という言葉自体が残念のように感じてしまうのですが、「キリンは長い舌で鼻くそをほじる」「ダチョウは脳みそが目玉より小さい」など、あまり知られていなかった残念な一面も見方を変えて新たな魅力として伝えています。残念なまま終わらせず、「カメムシは自分の臭いにまいつちやう」などクスッとしてしまう内容も人気の秘密かもしれません。

小山町教育委員会主催「おやま応援メッセージ」に6年生が応募しました。休校中、家族とのふれあいの時間に感じたことや考えたこと、働いている人への「ありがとう」という感謝の思いを素直な言葉で綴りました。6年生28人、どの学年よりも物理的な密にならないように気を遣って過ごしています。でも、毎日の気持ちの良い挨拶や真剣な授業態度、協力して行っている委員会活動を見ていると、心の密はしっかりと保たれているように感じられる足柄小学校のリーダーたちです。

皆既日食で見えるのがコロナと呼ばれる太陽を取り巻く大気。今は別のコロナのイメージが強いですが、「10年前の部分日食の時は、コロナで学校生活も大変だったよ。」と、成長した6年生の子どもたちが、2030年の部分日食を見ながら話す姿が目には浮かびます。

